

## 緑の担い手

### 林業を生業として

(株)本多林業

古 屋 茂

は猪の肉のお裾分けなどをいただくこともあり、改めて人とのつながりが身に沁みます。

今は伐倒や集材、土場管理の業務を行っていますが、林業は安全管理や生産管理を高いレベルで両立させる奥が深い仕事だと思います。

特に安全については、どう動けば自分や周囲の安全が確保できるか考えることを身につけなければと思っています。

歳も歳なので焦る気持ちもありますが、今後も技術をスキルアップしつつ、安全を最優先として林業を私の生業にし、今後の人生を歩んで行きたいと思います。

やはり伐倒職人は私の夢です。

私は生まれも育ちも大子町で、幼い頃は、山や川で虫や魚捕りをして遊んでいました。

その後、町を離れて家族もできた49歳の時、ふと「地元に戻りたい」と思い妻に相談したところ、転職を応援してくれました。

幸い幼い頃の友人が現在の職場を紹介してくれ、もともと林業に興味があったので、躊躇無くこの世界に飛び込みました。

現在、フォレストワーカー研修1年生として林業についての様々な勉強をさせて頂いていますが、研修の同期も24名と多いのが今年の特色です。

集合研修の時には、林業へ向き合おう思いや再就職先に林業を選んだ事など、同年代の皆さんととても良い話ができ、団結力が強まっています。

また、地元の先輩後輩も林業に携わる方が多く、米や野菜、ある時に



フォレストワーカー1年の仲間と  
(左上から) 鈴木さん(ヤブキ林業)、  
師岡さん(下村林業)、長谷川さん(美和木材協同組合)  
(左下から) 須藤さん(鈴木木材)、本人、  
吉村さん(常陸大宮市森林組合)